

日本初の近代水道—横浜水道

はじめに

明治20年（1887）年10月、日本で最初の近代水道である「横浜水道」が誕生しました。今から130年以上前になります。

安政6（1859）年に横浜が開港しました。国際的な貿易港となった横浜村には商人が移り住み、外国人居留民も増えました。戸数わずか100戸足らずだった寒村が、横浜市誕生時には12万人の市となったのです。急速な人口の増加に伴い、海が埋め立てられ土地も拡張していきましたが、生活環境や衛生状態が劣悪で、中でも水道が最も緊急なインフラでした。

いつでもどこでも安全で良い水が欲しいという人々の夢は、近代水道の完成によって実現しました。開港当時から人々の生活を支えるとともに、横浜に多くの人を誘い、快適に暮らすことができる街をつくりあげた背景には、横浜水道があります。横浜はまさに「水道がつくった街」ともいえます。

この展示では、「日本初の近代水道—横浜水道」の誕生の歴史について紹介します。